

2013-2014 ROTARY INTERNATIONAL DIST. 2710



ガバナー月信

Vol. 2

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2013年 8月号

SHIMONOSEKI ROTARY CLUB



Governor's Message

『会員増強月間』

2013-2014年度
国際ロータリー第2710地区ガバナー

沖田 哲義

GOVERNOR:Tetsuyoshi Okita

地区内ロータリアンの皆さん、今日は。

今月は、「会員増強月間」です。会員増強に関しては、よく「質か量か」といわれますが、当然のこと、「質も量も」です。この点に関しては、現状では殆ど異論がないのではないのでしょうか。したがって、ロンD・バートンRI会長の第1の強調事項である「会員増強の推進」(純増1名)も、質の良い1名ということになります。そこで、問題は、何をもち「質がよい」と判断するのかという点が残るのです。この点に関するものも含めて、「会員増強」に関して、私は、以下のように考えています。

第1 質及び量について

1 一般論

一般的にいえば、世の中に役立つと認められる仕事についており、且つその仕事の中でそれなりの地位についている人は、原則として「質が良い」とみて良いのではないのでしょうか。

2 個別論

あとは、その人の個人的問題、即ち「性格」と「意思」の問題だと思います。①性格としては、そこそこ「協調性」があることです。②意思としては、「奉仕活動」をする意思があることです。ただし、②については、入会した後の研修しただと思います。

3 結論

このように考えてきますと、クラブ内の誰かが推薦するような人は、通常であれば上記1及び2の要件を備えているので

あり、殆ど問題はないと思います。そうしますと、あとは「量」の問題が残るだけであり、結局、最終的には「質か量か」という問題ではなく、単純な「量の問題」に収斂するのではないのでしょうか。この点からしても、「SAKUJI」作戦は、大変効果的なものだと思いますので、ロータリアンの皆様、大いにこれを活用してください。

第2 退会防止

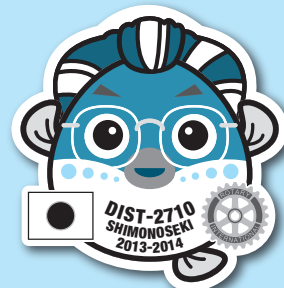
会員増強の現実的問題としては、よくいわれることですが、まず第1に会員の退会を防止することです。転職になったとか、自分の経営する会社が倒産したとか、あるいは又それに近い理由で退会するのはやむを得ないことです。しかし問題なのは、「面白くない」とか「役に立たない」という理由で退会することです。これは、殆ど、入会後のケアと研修が不足している場合です。このケアには、勿論「飲みニケーション」や「ゴルフ」等の「懇親」も含まれます。また、研修については、当然のことですが、「奉仕」についての「猛」勉強を含みます。ちなみに、これについては、本年度の地区重点方針の一つとして、「職業奉仕の研究の深化と啓蒙活動」を掲げているので、大いに実行してください。

第3 会員増強委員会の独立委員会化

既に何度も述べていますが、CLPでも又DLPでも、委員会構成については、まず第1に「会員増強委員会」を上げています。これには、会員に対する意識付けという意味合いもあると思いますが、各クラブや地区をあげて「会員増強」に邁進するとすれば、このような委員会構成が必要になってくるという組織論からの裏付けもあります。当地区内の各クラブにおかれましても、来年以降、是非ともこの点、即ち「独立」会員増強委員会」の設置を十分にご検討頂きたいと思えます。

CONTENTS

● ガバナーメッセージ/目次 P1	● 奉仕プロジェクト部門② P5
● 会員開発委員会カウンセラーメッセージ P2	● 米山記念奨学会部門 P5
● 地区協議会を終えて P2	● 『ロータリーの友』報告 P6
● 会長・幹事部門 P3	● 会員増強セミナー出席報告 P6
● クラブ管理運営部門 P3	● ロータリー財団寄付のお願い P6
● 会員開発部門 P3	● 会員増減・出席率 P7
● ロータリー財団部門 P4	● 新会員紹介/物故者への哀悼/文庫通信/奥付 P8
● 奉仕プロジェクト部門① P4		





8月会員増強月間に寄せて

2013-2014年度
国際ロータリー第2710地区 会員開発委員会 カウンセラー 天野 肇

地区会員開発委員会は、従来の会員維持委員会の呼称を変更し、会員増強に加えロータリーの目的を世に知らしめると共に、ロータリーの体幹である職業奉仕の認知度を高め、引いてはそれがロータリーの拡大に繋がることを主眼としている。同時に地区会員がロータリーに関する知識を深める為、各クラブのロータリー情報委員会活動を活性化させる目的を包含している。つまり、会員増強・退会防止に関わる包括的活動を推進する委員会である。

今回は、この機会を借りて「何故日本のロータリークラブは会員数を減らし続けるのか?」、その原因の一端を考えてみたい。

長年続いたデフレ経済による企業の疲弊に合わせて退会増と増強困難、超高齢化社会の影響、会員獲得ターゲットとなる30歳以上の中堅世代の価値観の変化等々が、主原因として繰り返し指摘されて来たので、ここでは触れない。深層的原因として、ロータリーを含め社会全般の「一種の体制疲労、換言すれば制度疲労」が挙げられると考える。私のように初老の会員は、日本経済の右肩上がりの年代を過ごし、仕事面で拡大に苦しんだが、挫折感はずほど経験

していない。クラブにおける活動も面白く、活発で、現在のロータリー家族をはるかに先取りした定期的な家族付き合い、先輩の指導は厳しく且つ温かく、ロータリーライフを楽しむことが出来た。週1回の例会が待ち遠しく思ったことが度々であった。RLIのようなお仕着せ教育が存在しないのにロータリーの精神が自然に心の中へ入り込み、活動への理解が深まる体制であった。決して懐かしんでいる訳ではない。日本経済の発展とロータリーの発展が共振し、共鳴した時代に相応しい体制が構築されたのだと思う。バブルがはじけて既に「失われた20年」デフレ経済を経験し、会員それぞれの守備分野の各産業構造が激変し、グローバル経済に取り込まれた。ゆとりある経営は許されない。政権が自民に替わっても、会員の中核をなす中小企業の経営環境は依然として厳しいし、懐かしき時代は戻ってこない。よき時代が生んだロータリーの体制・制度が軋み、疲労し、それを立て直す「船中八策」が生まれてこない。深層心理の中に日本的ロータリーの崩壊が意識されているように思う。私が、体制疲労・制度疲労と思う所以である。

地区協議会特集



地区協議会を終えて

2013-2014年度
国際ロータリー第2710地区 ガバナー 沖田 哲義

「月信編集委員会」から、このようなテーマを与えられました。これは、例年この時期に、このテーマでその時のガバナーが感想を述べているからだと思います。その理由は、例年であれば毎年5月に地区協議会が開催されているからです。しかし、私の年度は、今年の3月20日にこれを開催しました。その理由は、5月にRI主催の「ロータリー世界平和フォーラム広島」という極めて大きな国際会議が広島国際会議場で開催されたからです。そうしますと、地区協議会は、今から約5ヶ月前のことだったということになります。したがって、最早、完全に過去の出来事のように思えてくるのであり、何を今更という感が否めません。

それでも、この地区協議会では、RI会長テーマを十分に解説できたことと、地区組織の現況についての問題点等を指摘できたことは、大変良かったと思っています。これらの

内容については、既に、「会員開発委員会での質問に対する回答」で再度詳述していますので省略します。十分にこれをお読み頂きたいと思います。

それにしても、この地区協議会が終了してから、私の年度が始まる7月1日までに、重要な出来事が二つも発生したことは驚きです。その一つが、ロンD・バートンRI会長に直接お会いし、同会長から本年度のRI会長テーマとRIの第2標語が同じであると確認できたことです。もう一つが、R財団の新地区補助金の審査結果の内容です。この二つ目については、審査発表がこの時期に行われること自体はスケジュールどおりだったのですが、その審査結果の内容については全くの驚きでした。

これら二つの出来事については、既上記「回答」や「R財団夢計画初年度の反省(新地区補助金に関して)」で述べていますので、もう一度じっくりとお読み頂きたいと思います。



2013-14 年度 地区協議会報告

2013-2014年度
国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 **小倉 國雄**

3月20日13時より2013-2014年度地区協議会が開催されました。

今年度は、通常は5月に行われます地区協議会が、R財団の「未来の夢計画」の実施年度にあたり、新地区補助金についての地区への申請締め切りが3月末日となっていること、及び5月にRIの本年度最大行事の一つである「ロータリー世界平和フォーラム広島」が開催されますので、3月20日に国際会議場においての開催となりました。

先ず沖田ガバナーエレクトによる、奉仕活動を見直そう「新しい奉仕活動への挑戦」という地区ガバナー信条に基づいた、運営の重点方針と目標の発表があり、続いて分科会として、「会長幹事部門」を始め八部門別にそれぞれに活発な討論が行われました。

「会長幹事部門」では、先ず田村泰三 PGによる「奉仕活動を見直そう（東日本震災復興支援活動を通じて）」の講演があり、田村 PG 年度に行われた東日本震災復興支援活動をスクリーンを通じて分かりやすく説明をされました。その後、G1の紺屋、G5の金井、G7の井内、G9の基廣、G12の豊浦ガバナー補佐をパネラーとして、RLIの方式により沖田 GE が質問者となり「奉仕活動」について、様々な切り口で進行し、時には弁護士のような質問によりハラハラしながらの展開となりましたが、具体的な内容今後に繋がる結論となりました。

最後にまとめがあり、会場をホテルグランビア広島に移動し、懇親会が和気あいあいとした雰囲気の中に行われ、最後に「手に手つないで」をもって閉会となりました。

関係者の皆様、本当に長時間有り難うございました。



地区協議会報告 クラブ管理運営部門

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員会委員長 **吉村 彦士**

「魅力的な例会と出席率の向上」と「CLPに対する理解と実践」の二つが分科会のテーマについて大之木ガバナーをカウンセラーに、パネラーとして下関 RC 西村義詮会員、宇部 RC 西村正義会員、周南西 RC 蔵清正一会員、大竹 RC 藤本慶治会員、東広島 RC 高橋秀信会員に参加いただき開催する。まず、大之木ガバナーからロータリーを木に例えてクラブ管理委員会の業務は、奉仕の為の基盤づくりでクラブ運営の中核=土台となるセクション。任務は、奉仕をする人づくりの場である例会で会員の高質化=レベルアップを目指す例会運営をいかに行うかなどクラブ管理運営のポイントのスピーチを戴いたのち、5名のパネラーによるクラブの現状と課題の意見交換に入った。(下関 RC) 例会運営や出席はingの進行形。例会への出席は各自の

自覚の問題として捉えている。(宇部 RC) 席順の固定化防止に1~2ヵ月毎に「くじ」で席をきめる。一方、いま人間関係での退会や会員の高齢化が問題となっている。(周南西 RC) 会員全員で「クラブ満足度」アンケート実施を行い、クラブの洗い直しを実行。(大竹 RC) 元会員を5年区切りで記念大会に招待するホームカミングの実施。地域の特色を生かした転勤族の会員勧誘と同時に、地域内に RC が無い為メイクアップができず欠席補填が出来ない問題を抱える。(東広島 RC) 市民の範となる気品あるロータリアンの復活など各クラブの現況と問題の報告がなされた。最後に、大之木ガバナーより近い将来義務化されるであろう CLP によるクラブ運営についての所感を戴き閉会した。



地区協議会報告 会員開発部門

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 会員開発委員会委員長 **和田 銀一郎**

分科会テーマは、①クラブ内で実施すべき職業奉仕プロジェクトの研究及び職業奉仕に基づく研修方法の研究、②SAKUJI作戦の研究とこれに基づく会員増強の研究と定めました。

まずカウンセラーの天野肇 PDG (福山 RC) から「会員開発委員会の役割について」の講話をいただきました。

従来「会員組織委員会」だったものを「職業奉仕部会」を「奉

仕プロジェクト委員会」から移行し「ロータリー情報」も包括して「会員開発委員会」とした意義が話された。

「職業奉仕を包含することの意義は、職業奉仕がロータリーの体幹(躯体)であることを考えると、会員増強・退会防止の面からみてもその意味と意義を会員が理解して、会員勧誘、増強、退会防止に当たる場合大きな成果につながる」、「ロータリーが職業奉仕団体という特別



な意味を有する組織であり、このことが他の奉仕団体とは一線を画することを熟知していなければ、真のロータリアンとは言えない」と話された。

「職業奉仕について」では3件の事例発表の後、弘永部長が「ガバナーエレクト方針」を説明し、質疑応答とした。事前打合せの際、沖田ガバナーエレクトはクラブ訪問では「職業奉仕」を大いに議論したいと述べておられましたが、この会でも多くの質問や意見が出ました。また「今回の質問等をエレク

トは全員に回答して欲しいとの意見も出ました。

「SAKUJI 作戦」については情報が周知しておらず、74クラブ中賛同するとの回答は23、推薦状を出したのは2クラブでした。情報を共有しながら「SAKUJI 作戦」を遂行していきたい。

天野肇カウンセラーの結びの言葉「ロータリアンは、大いなる冒険者になることが求められている時代だ」を心に刻み、沖田ガバナーエレクトの思いを具現化できる様努めたい。



地区協議会報告 ロータリー財団部門

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会委員長 伊賀 訓之

2017年ロータリー財団は創立100周年を迎えるに当たり、「未来の夢」を提唱し人道的プロジェクトなどを実施するクラブや地区をサポートするための新しいモデルを実現しようとしています。

当地区では沖田ガバナーの指導のもと、新地区補助金を活用してロータリーの奉仕プロジェクトの新しいプログラムをクラブで企画立案できるようにしたいと考えています。

そのために、地区ロータリー財団委員会やガバナー補佐、各クラブロータリー財団委員が協力するよう訴えられました。

標語 世界で良いことをしよう。

ロータリー財団は、地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラントの3種類の補助金を提供します。

■地区補助金

地区補助金は地域のニーズを調査し財団の使命(ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること)に沿った、短期の活動プロジェクトを実施するためにクラブが活用できる補助金です。補助金は地区が管理し、複数のクラブの財団の使命に沿ったプロジェクトに配分します。補助金を活用してプロジェクトの実施を希望するクラブは地区が主催する補助金管理セミナーをクラブの代表一名以上が受講して、クラブの参加資格を得ることを地区補助金の受領に義務付けています。

続いて補助金管理セミナーは第一セッションに入りました。地区補助金の地区の指針について説明しました。

地区補助金はDDFの50%以内で、人道的、教育、社会奉仕的な多様な分野のプロジェクトの活用を実施できます。

■グローバル補助金

グローバル補助金は社会のニーズを調査し、6つの重点分野の1つ以上に関連した人道的プロジェクトで達成、測定、持続が可能なプロジェクトに活用できる補助金です。

クラブ(または地区)は、協同提唱者との強い協力体制を築き社会のニーズを基に達成、測定、持続が可能なプロジェクト

を立案します。

〈協同提唱者〉

グローバル補助金の場合、実施国側と援助国側のクラブ(または地区)が協同で提唱者となる必要があります。双方の提唱者及び協力団体が、合同で決定してプロジェクトと資金を効果的に監督し、プロジェクトに向けて協力関係を築き、円滑なコミュニケーションを取ることが大切です。

〈地域調査〉

地域社会のニーズ調査を行い、多くの情報を集め、地元が一番希望しているプロジェクトを計画します。計画に当たって実施国、援助国双方の提唱者は3名のロータリアンから成るプロジェクト委員会を任命し、双方に代表連絡担当者を各1名決めます。

活動の監督責任を共有し、実施国、援助国の役割と責務を分担することを具体的に決めます。

グローバル補助金の資金は、クラブ資金の現金に対しては50%のWFが給付され、地区資金(DDF)については100%のWFが給付されます。これらがプロジェクト資金です。

このプロジェクトは次の6つの重点分野の1つ以上に関連した人道的プロジェクト、職業研修(VTT)、奨学金(大学院)プロジェクトをクラブ(または地区)で実施することが出来ます。(グローバル補助金のWFの下限は15,000ドルで上限は200,000ドルです)

重点分野(特記事項)

- ・平和と紛争予防/紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

■パッケージ・グラント

パッケージ・グラントはロータリー財団と戦略パートナーが共同で立案する活動です。

資金はWFと戦略パートナーによって金額が賄われます。



地区協議会報告 奉仕プロジェクト部門①

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員会委員長 堀川 国彦

この分科会では「新しい奉仕活動への挑戦」…地区奉仕活動アンケートの報告と題して、地区内10年間各クラブで評価が高かつ

た奉仕活動をアンケート調査により収集し、地区奉仕活動事例紹介と題して、社会奉仕3クラブ、国際奉仕3クラブ、計6クラブの



成功事例の発表を行った。その内容については発表順に、呉 RC 明神 博様による「姉妹クラブ仁川 RC との青少年交換事業」について、広島中央 RC 前原恒泰様には「命の重み…奉仕活動のキーワード」について、広島西南 RC 山下幸彦様からは「ベトナム教育支援事業」について、東広島 2IRC 土肥慎二郎様からは「身体障害者施設へのマッチンググラウンドを利用した寄贈」について、福山東 RC 山崎欣亮様からは「インドネシアバリ島水プロジェクト」について、最後に岩国 RC 伊藤進吾様の「仙台東部地区綿花栽培支

援」について、5 クラブがプロジェクターを使用しての本格的なプレゼンに、規定時間ギリギリまでの熱い活動報告となり、会場からの質疑応答、カウンセラーの講評に、時間が不足した分科会となってしまった。会場からの国際奉仕活動にて、「海外渡航旅費をクラブが何処まで負担しているのか?」との質問に、参加者が各クラブを代表し挙手にて、状況を把握できたのは大変参考になった。

また、アンケートを「奉仕プロジェクト活動状況調査 参考事例編1」として冊子にまとめ、分科会参加者全員に配布した。



地区協議会報告 奉仕プロジェクト部門②

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 新世代奉仕部会長 木下 稔

分科会では、出席していただいた各クラブ新世代奉仕関係者へ地区がどのような新世代活動に取り組んでいるのか、またその活動目的が何なのかを知っていただくことに重点を置き、その活動を理解された上で地区の新世代奉仕活動と各クラブ独自の新世代奉仕活動が、リンクすることが出来ないものかと提案をさせていただきました。具体的な活動内容は4プログラムの各委員長から発表していただき、その後質疑応答の時間を取り、終わりに前田茂カウンセラーの講評をいただき閉会となりました。

ここで改めて、新世代奉仕部門の青少年支援プログラムをご紹介させていただきます。

インターアクト (IA)、ローターアクト (RA)、青少年交換 (YE)、ロータリー指導者養成 (RYLA) の四つです。これは国際ロータリー常設プログラムで、世界中のロータリークラブにおいて活動されています。共通の目的は社会での将来良き指導者に成りうる青少年を支援し、チャンスの場を提供することです。青少年は社会の中で通常、就学期での教育、就労期においては企

業内教育と自己啓発により成長していきます。ロータリーには、この成長発展期間の青少年たち12才～30才までの年齢層別にロータリー独自のカリキュラムで育成プログラムが用意されています。世界ネットワークの規模で行なわれる大変よく出来たプログラムだと思います。

最後に地区ロータリアンの皆さんへお願いがあります。4プログラムの内、青少年交換とRYLAは青少年が各クラブの推薦により参加できるプログラムです。青少年交換派遣学生募集の締め切りは9月30日です。募集人数は4～5名。選ばれた青少年は9ヶ月間の研修後、来年の8月から一年間の海外留学へと旅立ちます。1年後帰国した青少年は立派な国際人となっています。もう一つのRYLAは11月23・24日の二日間、下関東 RC 主催で下関市「赤間神宮」で開催されます。皆さんの周りにいらっしゃる若者たちへ是非声を掛けて見て下さい。そして、若者たちへチャンスの場を与えていただけます様、よろしくお願い申し上げます。



地区協議会報告 米山記念奨学会部門

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会委員長 井上 正明

「公益財団法人としてさらなる奨学事業の理解と促進を」を基本テーマとして、約二時間にわたり分科会を開催しました。

地区カウンセラーの仁田一也 PG (広島東南) より開会のご挨拶をいただいた後、早速プログラムに入りました。

分科会テーマとしては以下の2点としました。

- 1) 地区内のロータリアンに米山奨学会事業を理解していただき、事業の充実発展のため、寄付率向上を目指す。(地区方針 寄付目標額 16,000 円以上/人の達成)
- 2) ロータリアンと奨学生・学友会との交流を図り、米山記念奨学会シンボルマークにある国を超えた信頼と世界平和を願う“心”を育てる。

はじめにロータリー米山記念奨学会作成のDVD「ひろがれ! 人づくりの輪」(2012年版、15分)を上映し、その後パワーポイントにより米山記念奨学会の概況並びに現状を説明、また当地区の状況についても報告しました。奨学生の割当数が減少する中で、いかに各クラブと奨学生の交流を保つことができるか

が今後の課題となるかと思いました。

次に以下の奨学生並びに各世話クラブのカウンセラーの方々より講話をいただきました。

盧尚逸さん (広島経済大学)、カウンセラーの小佐古哲哉様 (広島中央)
王丹さん (県立広島大学)、カウンセラーの渡辺恭信様 (庄原)
張曉卿さん (広島修道大学、3月で奨学生終了)

それぞれ実体験の即した素晴らしいお話をいただきましたが、紙面の都合上内容は省略させていただきます。

その後、地区米山学友会会長の島崎高志様 (東広島) から学友会の活動について説明をいただきました。

最後に質疑応答に移りましたが、「寄付目標を達成したら奨学生の数がどれだけ増えるのか」と言った大変前向きのご質問をいただき心強く感じた次第です。そのほか質問も特にはなかったことから、仁田 PG より米山奨学会事業がいかに有意義で素晴らしいか10分程講話をいただき、長丁場の充実した分科会を終了しました。



各委員会より報告とお知らせ



『ロータリーの友』報告

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 『ロータリーの友』部会代表委員 **喜志永 佳和**

沖田年度(2013-2014年)の「ロータリーの友」地区代表委員を拝命いたしました喜志永でございます。一生懸命頑張りますので、皆様のご協力よろしくお願いいたします。

去る5月20日(月)にメルパルクTOKYOにて開催されました「ロータリーの友」次期地区代表委員オリエンテーションに出席してきました。本年度の「ロータリーの友」誌の編集企画に付いて下記の通り説明がありましたのでご報告いたします。

1. 会員の写真で表紙を構成します。
前年度に引き続き「私のとっておきの写真」を募集し、表紙を作成していきます。
テーマは特に設定いたしません。4月末締め切りで、8月号から掲載するとの事です。
2. 「元気な街づくり」(仮題)の連載を始めます。
商店街の復活や新しい産業の構築など、街の状況・活動にスポットを当て、また、そこにあるロータリークラブを通して、活気ある街をつくろうとしている人たちを紹介します。

3. 「心は共に」で、引き続き復興の状況やロータリアンの支援などを特集として取りあげていきます。
4. 「ロータリー、いま」(仮題)の連載をはじめます。
新会員の為に難しいことを解説した「はじめる一歩」が、初心者にもわかりやすく、ロータリーの最新の活動状況を紹介する「ロータリー、いま」に移行されます。
5. 「ロータリー活動」(フォトコンテスト)を開催します。
ロータリー活動の写真を年間通して募集し、優秀作品を決定。「友」誌上ならび「Rotary Japan」で発表予定です。「友」誌掲載の写真の向上と各地区、クラブで広報パネル展などに使用できるようにして「ロータリーの公共イメージ向上」支援ツールとして活用することも考えているとの事です。
以上が本年度の主要編集企画です。各ロータリークラブの皆さん、地区内情を「ロータリーの友」誌に反映できる様努力していきますので、ぜひ様々な情報をお知らせください。



3/19 開催 「全国会員増強セミナー」出席報告

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 会員開発委員会委員長 **和田 銀一郎**

3月19日(火)10時より、ハイアットリージェンシー東京において「国際ロータリー第1・2・3ゾーン会員増強維持セミナー」が開催されました。

松宮 剛 RI 理事の挨拶のあと、桑原 茂第1ゾーンロータリーコーディネーターから「RC 研修研究会に参加して」、坂本 俊雄第2ゾーンロータリー・コーディネーターから「RIゾーン1・2・3の現状」の報告があり、その後辰野 克彦 RI 会員増強維持委員会委員長から「今後の日本における会員増強維持とクラブ拡大について」の報告がありました。

55分間の昼食をはさみ、12時45分より井上 暎夫第3ゾ

ンロータリー・コーディネーターから「SAKUII 作戦について」の報告のあと、ワークショップとなり各テーブル毎の1時間弱の討議の後、事例発表、意見発表、まとめが行われ、最後に北 清治 RI 理事エレクトの講評で16時30分に閉会しました。

33地区から113人の参加でした。半数近くが、RI理事・ガバナー・エレクト・ノミネーであり、RIの現況からの日本のロータリーにとつての懸念に対する改善策への思いを強く感じました。

「ロータリーは実践である」「活気にあふれたクラブと地域づくり」の言葉を東京土産といたしました。



ロータリー財団寄付のお願い

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会委員長 **伊賀 訓之**

■ 2013-14 年度、地区ロータリー財団寄付目標

- ①年次基金 150ドル以上/1人
- ②ポリオ・プラス 5ドル以上/1人
- ③ベネファクター 1人以上/1クラブ
- ④恒久基金の充実(ロータリー財団の将来にそなえて)
- ⑤大口寄付の要請(自動定期寄付を奨励)
- ⑥冠名基金の要請(自動定期寄付を奨励)

■ 自動定期寄付

自動定期寄付は、オンラインで申込みいただけます。下記のアドレスから寄付の種類を選択後、順次寄付ページを進んで下さい。
<http://www.rotary.org/ja/CONTRIBUTE>

この寄付方法では自分に合った寄付額と寄付頻度が設定出来、手続きにかかる手間が省けるだけでなく、安全な方法で自動的に寄付することが可能になります。ご協力宜しくお願いいたします。

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2710地区 2012-2013年度 74RCの会員増減・出席率 2013年6月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1	長 門	4	90.5	92.32	32	32	5	3	3	0
	下 関	4	86.67	84.63	46	47	1	8	7	1
	下関中央	3	75.05	79.01	27	30	5	8	5	3
	下関東	4	77.8	81.67	45	46	0	8	7	1
	下関北	4	91.87	90.35	41	40	0	2	3	-1
	下関西	4	86.25	85.83	40	38	1	1	3	-2
	油谷湾	4	100	100	12	13	0	1	0	1
	計		86.88	87.69	243	246	12	31	28	3
グループ2	萩	3	89.41	92.09	52	51	0	3	4	-1
	萩 東	3	100	98.89	24	22	0	2	4	-2
	美 祢	4	77.85	75.03	26	26	0	3	3	0
	小野田	4	81.32	84.37	42	41	2	5	6	-1
	宇 部	4	83.96	87.72	50	49	2	5	6	-1
	宇部東	4	61.67	70.65	19	17	2	0	2	-2
	宇部西	4	94.25	90.77	51	53	1	5	3	2
計		84.07	85.65	264	259	7	23	28	-5	
グループ3	防 府	3	95.06	90.17	53	51	0	5	7	-2
	防府北	3	71.43	79.87	19	20	2	2	1	1
	防府南	4	95.24	87.72	32	33	8	6	5	1
	山 口	3	94.24	94.29	51	55	2	6	2	4
	山口中央	4	80	85.75	7	0	0	0	7	-7
	山口県央	3	96.29	97.62	32	32	1	8	8	0
	山口南	3	89.7	86.38	37	38	4	3	2	1
計		88.85	88.83	231	229	17	30	32	-2	
グループ4	光	3	87.94	94.2	47	48	0	3	2	1
	周南西	4	95.24	98.51	42	43	3	4	3	1
	徳 山	4	91.65	96	44	45	1	10	9	1
	徳山セントラル	4	88.71	89.12	30	31	1	1	0	1
	徳山東	4	95.72	96.91	51	53	0	6	4	2
計		91.85	94.95	214	220	5	24	18	6	
グループ5	岩 国	3	77.37	78.31	57	62	0	9	4	5
	岩国中央	4	86.41	90.82	40	40	3	0	0	0
	岩国西	4	87.81	85.69	58	56	3	4	6	-2
	柳 井	4	100	100	31	33	2	5	3	2
柳井西	4	100	99.24	29	28	2	1	2	-1	
計		90.32	90.81	215	219	10	19	15	4	
グループ6	広 島	3	98.47	99.13	110	106	0	14	18	-4
	広島安芸	4	96.18	96.24	43	39	2	3	7	-4
	広島安佐	4	95.12	88.42	22	20	1	1	3	-2
	広島東	4	94.21	96.56	88	90	4	11	9	2
	広島北	4	98.71	99.3	81	80	0	3	4	-1
	広島陵北	4	98.91	98.69	38	46	1	9	1	8
	大 竹	4	91.41	87.88	31	31	0	2	2	0
計		96.14	95.17	413	412	8	43	44	-1	

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7	広島中央	4	100	99.69	57	69	9	14	2	12
	広島廿日市	4	87.82	89.6	37	37	1	3	3	0
	広島城南	4	98.63	96.63	50	55	2	9	4	5
	広島南	4	100	99.38	86	89	0	6	3	3
	広島東南	4	100	100	85	86	8	9	8	1
	広島西南	3	100	99.13	61	57	4	2	6	-4
	広島西	4	100	99.96	79	78	0	5	6	-1
計		98.06	97.77	455	471	24	48	32	16	
グループ8	江 田 島	4	93.43	93.06	18	19	0	1	0	1
	東広島	4	99.19	99.38	29	30	2	2	1	1
	東広島21	4	80.99	84.45	19	18	4	0	1	-1
	呉	4	91.1	90.98	72	68	0	3	7	-4
	呉 東	4	96.07	94.75	31	33	0	3	1	2
	呉 南	3	93.95	90.36	53	55	4	3	1	2
西 条	4	100	99.96	46	40	1	3	9	-6	
計		93.53	93.28	268	263	11	15	20	-5	
グループ9	広島空港	4	79.35	78.41	24	21	3	1	4	-3
	因 島	4	82.07	85.65	24	24	1	3	3	0
	三 原	4	94.05	91.67	63	63	2	6	6	0
	尾 道	4	85.37	86.12	69	70	3	7	6	1
	尾道東	4	91.81	88.87	54	50	0	2	6	-4
	瀬戸田	4	87.5	89.29	10	7	0	0	3	-3
	竹 原	4	91.43	90.54	33	35	4	4	2	2
計		87.37	87.22	277	270	13	23	30	-7	
グループ10	府 中	4	90.52	86.03	34	33	0	2	3	-1
	福 山	4	98.99	97	78	74	0	9	13	-4
	福山東	4	91.5	90.89	48	50	1	4	2	2
	福山丸之内	4	87.96	86.2	37	34	1	1	4	-3
	鞆の浦	4	80.36	87.66	27	27	0	2	2	0
	福山REC2710	4	99.04	98.38	0	27	3	27	0	27
計		91.39	91.03	224	245	5	45	24	21	
グループ11	福山赤坂	4	81.24	77.45	42	42	4	6	6	0
	福山北	4	92.93	95.6	48	45	0	0	3	-3
	福山南	4	82.94	85.23	57	58	1	6	5	1
	福山西	4	92.5	91.41	43	38	2	1	6	-5
	松 永	4	89.63	89.94	45	46	2	2	1	1
計		87.85	87.93	235	229	9	15	21	-6	
グループ12	吉 舎	4	97.06	97.49	16	17	0	1	0	1
	三 次	4	82.58	80.17	40	40	0	6	6	0
	三次中央	4	94.57	93.75	47	44	5	2	5	-3
	庄 原	4	97.14	93.28	36	35	4	0	1	-1
	東 城	4	86.92	81.67	19	21	1	3	1	2
計		91.65	89.27	158	157	10	12	13	-1	
2710地区計		90.34	90.797	3197	3220	131	328	305	23	



新入会員紹介

河野 安則 小野田RC 2013年7月3日 衣料品・キフト販売	三宅 節郎 宇部西RC 2013年7月1日 化学製品製造	豊島 善信 岩国RC 2013年6月13日 警備保障	中村 昌幸 柳井RC 2013年7月2日 建築業	藤山 美幸 柳井RC 2013年7月2日 業務請負業	井口 明夫 広島RC 2013年6月11日 電気機械製造	佐藤 陽一 広島東RC 2013年6月5日 地方銀行	横田 則夫 広島北RC 2013年6月20日 心療内科	長場 誠 広島中央RC 2013年7月8日 刑事弁護士	好永 裕一 広島中央RC 2013年7月8日 刑事弁護士
宮迫 雄平 広島南RC 2013年6月7日 石油製品販売	藤田 敏郎 広島南RC 2013年6月21日 建築一般	歌田 光典 広島南RC 2013年6月28日 建築設備設計	久慈 宏明 広島東南RC 2013年6月24日 生命保険	古賀 博之 広島東南RC 2013年6月24日 損害保険業	林 暢也 広島西南RC 2013年6月4日 不動産取引業	吉田 大蔵 広島西RC 2013年7月4日 鉄鋼製品卸売	片山 常明 広島西RC 2013年7月4日 ビル総合管理	屋田 哲士 福山RC 2013年6月10日 機械工業	橋本 裕之 福山RC 2013年6月10日 民間放送
佐々木 恵一 福山RC 2013年3月25日 旅行業	石井 潔 福山RC 2013年5月20日 工業薬品製造	波多 秀治 福山RC 2013年5月20日 貯蓄銀行	岡本 博之 福山REC271ORC 2013年7月1日 漁具製造	赤毛 康倫 福山赤坂RC 2013年5月21日 レストラン	吉元 友浩 福山赤坂RC 2013年5月21日 店舗建築	馬場 正人 福山赤坂RC 2013年6月25日 弁護士	近藤 弘行 福山南RC 2013年6月6日 地方銀行	橋本 和士 福山西RC 2013年6月4日 イベント業	新入会員氏名 所属RC 入会日 職業分類

謹んで
追悼の意を
表します



小野田RC
故 竹本 貞夫 殿
2013年6月13日ご逝去(享年75歳)
■職業分類
漁業協同組合



東広島21RC
故 松岡 茂 殿
2013年6月16日ご逝去(享年71歳)
■ロータリー歴
会員組織増強委員長
SAA委員長/親睦委員会
ポール・ハリス・フェロー
■職業分類
資源リサイクル業



広島城南RC
故 古村 良雄 殿
2013年6月29日ご逝去(享年76歳)
■ロータリー歴
1997-98年度会長
ポール・ハリス・フェロー
準米山功労者
■職業分類
工業薬品製造

文庫 通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

310号 クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

■「ロータリーの資料」より

『リーダーシップ』について	深川 純一	2013	13p	(D.2760地区大会記録誌)
古澤文作・米山梅吉・和田菊松に関する三題話	神崎 正陳	2013	5p	(D.2550月信)
ロータリーの初心を訪ねて	安平 和彦	2013	16p	(D.2680西播第2グループ IM 報告書)
元気なクラブになるために(会員増強・維持)	桑原 茂	2013	9p	(D.2500地区大会報告書)
決議23-34	鈴木 宏	2013	6p	(D.2550月信)
ロータリーの楽しみ方	高野孫左エ門	2013	1p	(D.2620月信)
クラブ活性化の戦略計画	山下 皓三	2013	2p	(D.2730月信)
和訳「ロータリーの綱領」が変わります	木村大三郎	2013	2p	(D.2670月信)
米山梅吉と5人の群像	宮崎 幸雄	2013	3p	(米山梅吉記念館館報)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03)3433-6456 FAX: (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館: 午前10時~午後5時 休館: 土・日・祝祭日

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F

TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323 E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>